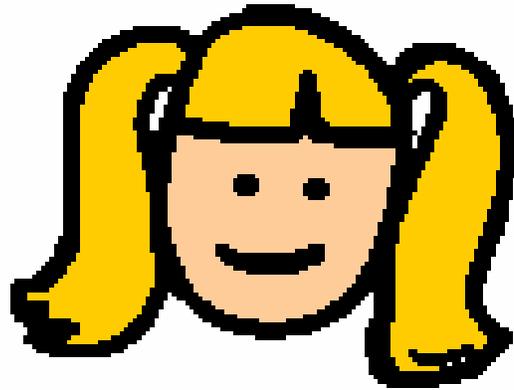


サポートブック

作成日 年 月 日



ふりがな

氏名

まるた
田

はなこ
花子

(男・女)

呼び名 はーちゃん 呼ばれて振り向く呼び方

学校・園・学年 A 市立 B 小学校 年

生年月日 年 月 日 歳

血液型 D 型 体重 kg



連絡先(保護者など)



優先順位 まるた かずこ

名前 田 一 子 (母)



× ×

(自宅)

× × ×

(携帯)

住所 E県F市G町 丁目×× ×

優先順位 まるた たろう

名前 田 太 郎 (父)



× × × ×

(株) ×商事 呼び出し

住所 E県H市J町 丁目× × ×

優先順位 まるた じろう

名前 田 次 郎 (祖父)



× × × ×

住所 E県F市L町 丁目

 緊急連絡先(医療機関など) 

病院名 W病院

科 科

主治医 T野 A 夫先生(不在時は S 原 R 子先生)



所在地 E 県 F 市 G 町 丁目 × ×

 連絡先(学校・園など)

学校名 A 市立 B 小学校

学年・組 年 組

えむだ びいこ

担任名 M 田 B 子先生

小学校  × × × ×

所在地 A 市 B 町 丁目

障害名・程度・障害の特徴

・花子は自閉症です。

診断名がない場合はそのことを記入。

・療育手帳は A 判定。

・この障害の特徴は、対人関係の発達の偏り、コミュニケーション能力に偏り（特に言語能力）、反復的な行動や強いこだわりを伴う想像力の発達の偏りです。

・これらは脳の中樞神経の障害で、育て方や家庭環境が原因ではありません。

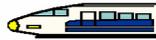
特に対人的なことについて書いておくと、初めて接する人が子どもさんに接しやすくなります。

・花子の場合、話しかけても目線をあわさない、ミニカーを並べることのこだわり、会話が一方的で、こちらが言ったことと同じことを繰り返して言う、等の特徴があります。

・運動障害はありませんが、相手の動きを真似ることやルールの理解が難しいので、スポーツに参加することが苦手です。

余暇・遊び・好きなこと

【室内】



- ・ プラレールの線路をつなげ、電車を並べること。
- ・ ウルトラマンのまねをすること。
- ・ 絵本を読んでもらうこと。(動物が出てくるもの)
- ・ ビデオを見ること。(しまじろう)
- ・ テレビゲームをすること。(スーパーマリオ)

【屋外】



- ・ 砂場遊び。
- ・ 花を摘む。
- ・ブランコに乗って大人に押してもらうこと。
- ・ 電車を見に行くこと。

【注意点・配慮点】

- ・ 同世代の子どもとひとりではうまく関われないので、大人がそばについています。
- ・ 活動終了3分程度前に、「ちゃん、あと3分でおわり」と伝えると、活動を終えやすいです。



トイレ



和式はどうか、洋式はどうか
男子トイレでは小の時 / 大の時は？
女子トイレは生理の始末など

【小】配慮点

- ・行きたいときは自分から「おしっこ」と言います。大人が付き添ってください。
- ・ファスナーを下げる練習をしています。便器の前で「ファスナー下ろしてね」と声をかけるとうまくいきます。

【大】配慮点

- ・和式トイレでは大便ができません。
- ・洋式トイレで、自分でパンツを下ろして便座に座ることができます。自分でペーパーを適量取って1回拭くことはできます。便がやわらかい時は、大人が拭くのを手伝っています。



水分補給・おやつ



【すきなもの😊】

どんな物が好きか書いておきましょう。

- ・スポーツドリンク（ポカリスエット等）
- ・お菓子全般（スナック菓子、クッキー、せんべい等。特にポテトチップスが好き。）

【配慮点】

- ・自分で量を制限できないので渡す前に「 個でおしまい」と約束しています。
- ・飲み物は1回 200cc 程度の缶またはパックのジュースをお願いします。

【きれいなもの👄】

- ・あんこ（饅頭、アンパンなど）
- ・くだもの
- ・家の外では、お茶を飲みません。
(水とジュースは飲めます。)

【×食べてはいけないもの🚫】

赤字で記入

- ・たまご・乳製品（牛乳,ヨーグルトなど）



食事 (1)



【すきなもの😊】



家庭での料理の他、外食では何が好きかも書いておきましょう。

- ・肉類、特にハンバーグ。となりの人の分まで手を伸ばすことがあるので、席を離しています。
- ・ふりかけが大好きです。白ご飯にかけると喜んで食べます。

【きらいなもの😞】



嫌いなものはどうしたら食べれるか、外では食べないものについても書いておきましょう。

- ・野菜（刻んだものは好きなものに混ぜて食べると食べることができます。）
- ・ケチャップ味の食べ物（スパゲティは和風なら食べます。）

【×食べてはいけないもの🚫】

赤字で記入

- ・玉子アレルギーのため、マヨネーズなど玉子が少しでも入っていると食べられません。



食事 (2)



【注意点・配慮点】



- ・ 外食ではたくさん注文しすぎる場合があります。事前に金額の枠を指定しています。
- ・ おはしは右手で持ちます。細かいものは上手くはさめないなので、はしを使おうとしたらほめています。
- ・ 時間があるときは「おはし使おうね」と励ましながら、おはしを指差ししています。
- ・ 時間がないときは、タオルを手元においておくと、自分で手をふきます。
- ・ 骨のある魚は自分で食べるできません。身をとってあげると食べることができます。
- ・ 目の前にあるものを全部食べようとします。一人分以上あるときは、事前に別の皿にうつしています。
- ・ 自分が食べ終わったあと、まわりを待つことが苦手です。かばんの中の時間つぶしグッズを使うように伝えています。

どんなことをしたらよいか、具体的に援助の方法を記入しましょう。

外出・移動

【できること】

- 車に乗ることが好きです。
- バスや電車は窓側だと景色を見て静かに過ごせます。
- 信号を見て、横断歩道を渡ることができます。
- 座りたがりですが、家から学校まで歩いて通っています（1 km程度）。

【配慮点】

- 駅や街中、車の多い所では、大人が手をつないでいます。
- 行き先を写真で見せてから移動しています。
- エレベーターでは、ボタンをすべて押そうとするので、手をつないでなるべくボタンから離れた位置に立つようにしています。

気になるものはないか、どんな交通手段を利用することが多いか、危険な行動はないか、書いておきましょう。

コミュニケーション・表出



要求・選択・拒否の時、それぞれどんな様子かを具体的に書いておくと対応してもらいやすくなります。

- ・ 2～3語文程度(例:「先生、トイレ行く」)の要求や、拒否(例「いや、しない。」)ができます。
- ・ 選択をさせるときは、言葉だけで言うよりも、絵に書いて、「どっち?」と聞くと本人に伝わりやすいです。
- ・ 欲しいものの名前がわからないときは、大人の手をとって、指し示そうとしたり、連れて行こうとしたりします。
- ・ 好きな話題は「ウルトラマン」や「電車」です。会話として続きませんが、本人の興味をひくことができます。好きなキャラはセブンで、絵を描いたり、テーマソングを歌ったりします。

言語なのか、サインなのか、クレーンなのか、絵カード、写真を用いるのかなど、子どものコミュニケーションの取り方を振り返って、「例えば」を入れると分かりやすくなります。発語のない場合、「首を横にふる」など、どんな行動をするかを書きます。

コミュニケーション・理解



指示・許可・禁止、ルールの理解について書きます

- ・話しかけるとき、注意をひくときは、
「たろーちゃん！」とはっきりした声で名前を呼んでから、指示をしています。
- ・具体的な指示の例
「ボールを片付けてね」×
「ボールをとってください。カゴに入れてください。」
「もうちょっとで遊びはおしまいだよ。」×
「時計を見てね。長い針が3のところに来たら、おかたづけします。」
- ・ひらがな、カタカナは読めますが、文章全体の意味を理解するのは苦手なので、単語と動詞でわかりやすく伝えています。
(例)「今日は晴れだからお外が良い？」×
「ボールで遊ぶ？トランプする？」
- ・してはいけないことは、きっぱり「ダメ！」と言って、手で×を示すとわかりやすいです。



こだわりやパニック



【きっかけ】



オートバイ、工事現場、掃除機の音
今、熱中していることを止められる

【行動】



耳をふさいで「アー」と大きい声を出しながら
走って逃げようとする。

床に寝転んでのけぞり、声をあげて泣く。

【対応】



手をつないで、「大丈夫」と声かけしながら、手をつないで
静かな場所へ連れて行きます。事前に、「 の音がするよ」
と予告すると大丈夫になってきました。

5分くらいで泣き止みます。無理に起こそうとせず、落ち
着いてから好みの活動に誘っています。

1枚で足りない場合は、カードを足していきましょう。

「予防」のためにどうすればよいか、「おこってしまったとき」
はどうすればよいかを具体的に書きましょう。



【できること】

- 上着は前を下向きに、ズボンは前を上向きに並べると自分で着ることができます。
- くつ下は、自分ではきませんが、かかとが上にきていたら、まわすのを手伝っています。
- くつも左右が反対になることがあるので、その時は声かけをしています。

【配慮点】

- 少し動くとすぐにくつ下を脱ごうとします。脱いだくつ下はポケットに入れるように声かけをしています。
- ぼうしやフードはかぶるのが苦手です。
- 袖口などが少しぬれただけで着替えようとしています。着替えが入ったバックを渡しています。



【できること】



- 「体を洗ってね」と声かけしたらひとりで洗えます。
- 湯船に長くつかれることは苦手です。1から50まで大人と一緒に数えると入っていられます。
- 風呂から上がったあと、体をふくことは1人でできます。

【配慮点】



- シャンプー、リンスは自分でわかりません。大人が取って、手に乗せています。
- シャンプーを流すときは下を向いて目をつぶっていますのでお湯をかけて大丈夫です。
- シャワーはかぶれますが、自分で蛇口をひねることはむずかしいので、手伝っています。

洗面・はみがき

【できること】

- ・ 歯みがきは、「歯をみがいてね」と言って歯ブラシをわたすと、自分でできます。
- ・ 「顔を洗ってね」と声かけすると、水を出して顔をぬらすことができます。

【配慮点】

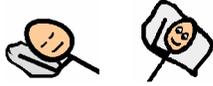
- ・ 歯みがき粉はなしで歯磨きしています。
- ・ 水で顔をぬらすことができたなら、手にタオルをわたすと自分で拭くことができます。

ひとりでできることはどんなことか、水を顔に付けるのが苦手な場合は顔ふきはできるか。

はみがきは自分でできるか、大人にされるのを嫌がるのか、嫌がったときはどうするか、書いておきましょう。

就寝・ねざめ

【状態】



寝るときは枕を抱っこして寝ます。落ち着くようです。枕にバスタオルを巻いています。朝まで起きることはほとんどありません。

いつも朝7時に起こしています。起こすまで寝ていると思うので、身体を軽く揺すって、「起きるよ」と声をかけています。

【配慮点】



夜中に目が覚めるときは、体調がよくないときが多いので、可能であれば体温を測ってみてください。

作成にあたって

サポートブックには大切な個人の情報が載っています。作成の最終チェック・管理は保護者が行いましょう。

サポートブックは、初めて子どもと接する人に対して、子どものことを知ってもらい、安全に楽しく過ごしてもらおうための支援ツールです。持って行く場所や状況に応じて、内容や量を調節しましょう。

- 子どもの成長に合わせて内容は随時書き直していきましょう。作ったものを残すことで、子どもの成長の過程がわかります。
- 書かれてある内容が、子どもにとってわかりやすい表現で書かれてあるか、子どもがいやな思いをすることのない内容であるか、チェックしておくことも大切です。

この見本は、兵庫教育大学井上雅彦研究室のご協力のもと作成しています。商用への転用はご遠慮下さい。

2005.3月